

証券コード：4733

株式会社 オービックビジネスコンサルタント



奉行通信

第**38**期 第2四半期ご報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日



特 集

OBCの
「クラウドファースト」



ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「**勘定奉行**」をはじめ、
企業に必要な基幹業務システム「**奉行シリーズ**」の
開発、販売及び保守・導入指導等を行っている**パッケージソフトウェアメーカー**です。

OBCのコアコンピタンス

1 企業の基幹業務(会計・給与・人事等)
のパッケージにフォーカスする

2 中堅及び中規模・小規模企業に
フォーカスする

3 Microsoftテクノロジーに
フォーカスする

4 パートナー戦略にフォーカスする

5 ブランド戦略にフォーカスする

OBCの製品ラインアップ

企業業務レベルに合わせた最適なソリューションを提供

業務別ソリューション (パッケージソフト)



シンプルな機能で
使いやすさを追求!
スタートアップ企
業や小規模限定の
パッケージ



基本機能を備えた
スタンダードな基
幹業務パッケージ



内部統制・IFRS・
グループ経営など
高い業務レベルに
対応できる高機能
パッケージ

企業業務の成長に合わせてアップグレード可能
小規模企業 中・小規模企業 中堅企業

安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術で
お客様のニーズにお応えしてまいります。

導入シェアNo.1の奉行シリーズ

導入実績 **56万社** 突破
※平成28年3月現在



日経コンピュータ 2016年9月15日号
顧客満足度調査 2016-2017
ERPパッケージ部門 1位
3年連続 1位を獲得 (2014~2016)

株主の皆様へ



代表取締役社長 和田 成史

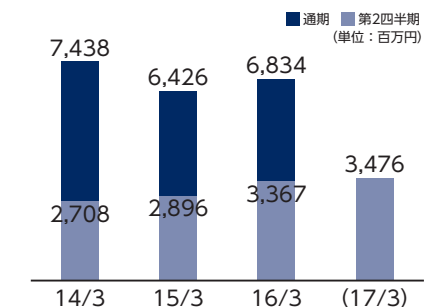
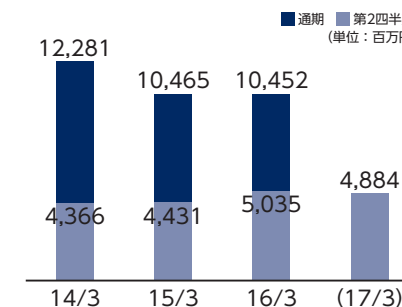
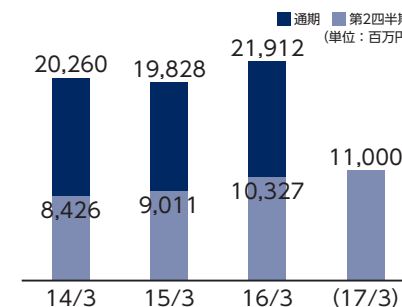
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠に厚く御礼申し上げます。
当社の属する当第2四半期累計期間の情報サービス産業は、各企業が対応しなければならぬ業務の効率化、法令や制度改正に対応するシステム更新需要が継続して高い状態にあり、新たな需要も生まれている状況です。
このような経済環境のもと、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、市場ニーズの変化に柔軟に対応した製品開発及びサービス体系の構築に注力してまいりました。企業を取り巻く環境は大きく変化していますが、近年、ますますニーズが高まっているクラウド環境を中心に、これからもパートナー企業と足並みをそろえた手厚いサポート体制で、今後のIT環境に迅速に対応するサービスの提供を推進してまいります。
株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当第2四半期の業績

売上高 **110億00百万円**
(前年同期比 **▲** 6.5%増)

経常利益 **48億84百万円**
(前年同期比 **▼** 3.0%減)

四半期純利益 **34億76百万円**
(前年同期比 **▲** 3.2%増)

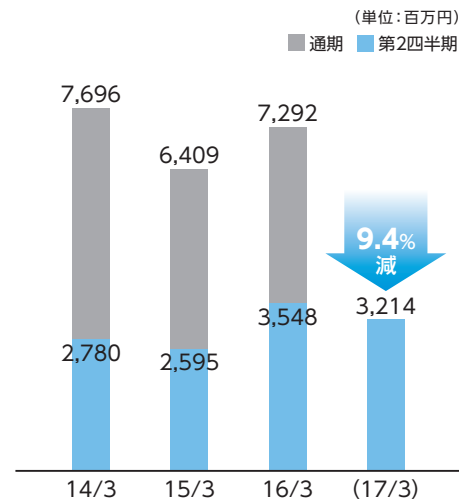


当第2四半期のポイント

- ◎主なユーザーの中堅・中小企業向けに、主力製品である「奉行10シリーズ」によるクラウド環境への対応を推進してまいりました。
- ◎対応が急がれるマイナンバー制度において、クラウド環境を利用した「OBCマイナンバーサービス」により、業務効率と安全性を両立したサービスを提供してまいりました。
- ◎売上高、営業利益が増加、増益となった主な原因は、保守サービス等のサービス売上が増加したことによるものです。

事業別の状況

ソリューションテクノロジー



◆当第2四半期の状況

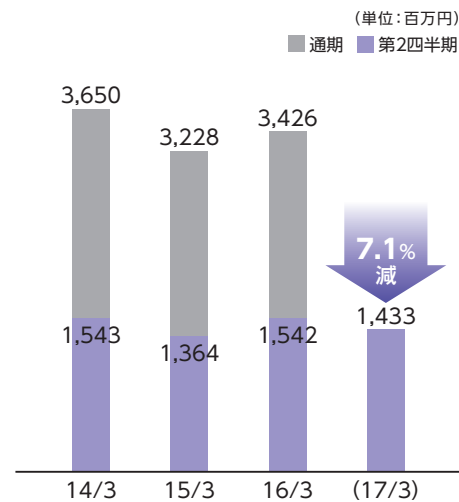
ソリューションテクノロジー部門の売上高は、前年同期比9.4%減の32億14百万円となりました。前第2四半期の、マイナンバー関連の奉行シリーズが好調であったことに対する反動減が主な原因です。

29.2%

❖事業内容

中堅・中小企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするパッケージソフトを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインナップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のパッケージソフトは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

関連製品



◆当第2四半期の状況

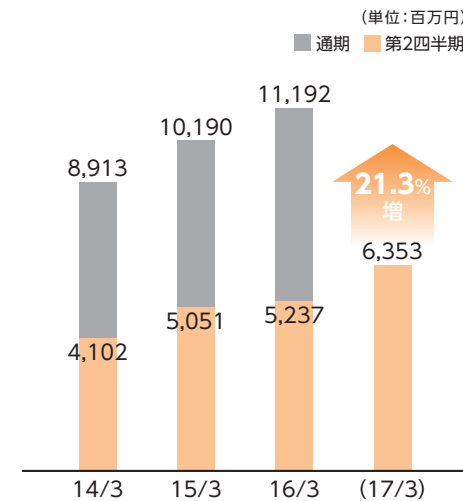
関連製品部門の売上高は、前年同期比7.1%減の14億33百万円となりました。奉行連動ソリューション売上が1億35百万円減少しました。

13.0%

❖事業内容

「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

サービス



◆当第2四半期の状況

サービス部門の売上高は、前年同期比21.3%増の63億53百万円となりました。インストラクター指導料収入が22百万円減少したものの、OBCマイナンバーサービス料の増加を含む奉行保守契約料等が11億46百万円増加したことで大幅増収となりました。

57.8%

❖事業内容

システム導入後のユーザーサポートを目的とした「スクール」や「訪問指導」、「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」の提供など、お客様満足度の向上のための業務支援サービス事業を展開。お客様目線に立ったきめ細かなトータルサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

通期の見通し

情報サービス業界においては、クラウドサービス、マルチデバイス、セキュリティ対策、ビッグデータ対応等への関心が高まっております。

こうした経営環境の中、当社では「奉行10シリーズ」にて、企業のクラウドファーストを支援し、顧客の新しいニーズに合ったサービスをお届けしてまいります。

例年開催しております「奉行フォーラム」でも効果的なクラウド活用を提案しご好評を得ることができました。

今後も「顧客第一主義」の理念のもと、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えた製品開発・保守サービスを提供してまいります。

◆2017年3月期業績予想

(単位: 百万円)

	金額	前期比
売上高	22,500	2.7%増
営業利益	9,480	3.6%増
経常利益	10,280	1.6%減
当期純利益	7,100	3.9%増

OBCは クラウドファーストへ

従来からの信頼性と操作性をそのままに、
「奉行シリーズ」は次の「クラウド」へ!



企業におけるクラウドの活用は、時代の変化に即した新たなビジネスモデルを創造し、競争力を強化するツールとして既に必要不可欠なものとなっており、今後も基幹業務を含む企業のあらゆる業務分

野でますます浸透していくことが予想されます。

OBCでは、創業以来の企業理念である「顧客第一主義」のもと、お客様や市場ニーズの変化に対応し、「奉行シリーズのクラウド化」を積極的に推し進めてまいりました。

そして、2016年11月。「奉行10シリーズ」は、新製品のクラウド版利用料モデルをリリースしました。

クラウド版は、セットアップ時間の短縮や運用コストの低減のほか、安全で幅広い情報利用の環境をお約束する次世代型サービスです。主要なクラウド事業者との連携を進めたことにより、多くのクラウドサービス環境で「奉行10シリーズ」の利用が可能となっています。

「クラウド」とは？

コンピュータの新しい利用形態のひとつで、各自のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアをネットワーク経由で保管・利用することにより、時間・コストの削減と効率化を図るサービスです。

クラウドで解決「奉行10」がご提供する3つのメリット

1

様々なクラウド環境で
利用できる

拠点だけでなく外出先からも利用したいなど、IaaS・PaaS・SaaSのどんなクラウド運用環境でも安全・便利にご利用いただけます。低コスト化が図れます。

2

必要な業務だけ
選べる

会計・給与・販売管理といった基幹業務はもちろんマイナンバーや勤怠管理まで、業務単位で必要に応じて部分的・段階的にクラウドが導入できます。

3

環境変化に
常に対応し続ける

制度改正やIT革新など、あらゆる変化に迅速に継続的に対応しますので、システム更新や運用人員の負担もなく常に業務だけの利用に集中できます。

「奉行10」は必要な時に必要な業務単位で最適なクラウド環境をご提供します

お客様とともに、次のクラウド時代へ

「奉行フォーラム2016」

～業務が変わる、
クラウドで変える～

数多くのご来場者様に、実際に「クラウド体験」していただきました。



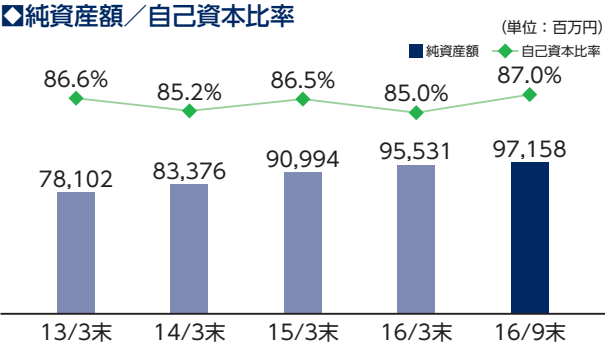
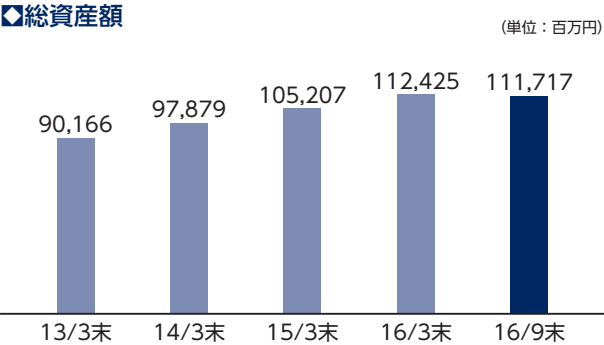
OBCでは、全国19カ所で『奉行フォーラム2016』を開催いたしました。今回は新しい業務への対応に絶大な効果を発揮する「クラウドの徹底活用」に焦点を当て、導入から運用

のご提案までを具体的にご感想いただき、多くのご参加の皆様から業務や経営改善の指針になるとご好評いただきました。

第2四半期貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第37期末 平成28年3月31日現在	第38期 第2四半期末 平成28年9月30日現在
資 産 の 部		
流動資産	78,483,135	81,670,742
固定資産	33,941,985	30,046,534
有形固定資産	295,331	403,395
無形固定資産	464,071	426,600
投資その他の資産	33,182,582	29,216,538
資産合計	112,425,121	111,717,276
負 債 の 部		
流動負債	12,884,737	10,585,666
固定負債	4,009,105	3,972,976
負債合計	16,893,842	14,558,642
純 資 産 の 部		
株主資本	85,284,961	87,445,369
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	61,165,032	63,325,980
自己株式	△5,348,339	△5,348,878
評価・換算差額等	10,246,317	9,713,264
その他有価証券評価差額金	10,246,317	9,713,264
純資産合計	95,531,278	97,158,633
負債純資産合計	112,425,121	111,717,276



CHECK POINT

1 純資産
純資産合計は971億58百万円となり、前事業年度に比べ16億27百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は87.0%となりました。

第2四半期損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前第2四半期 累計期間 平成27年4月 1 日～ 平成27年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成28年4月 1 日～ 平成28年9月30日
2 売上高	10,327,340	11,000,035
売上原価	1,556,221	1,636,734
売上総利益	8,771,119	9,363,301
販売費及び一般管理費	4,543,726	4,843,535
2 営業利益	4,227,392	4,519,765
営業外収益	810,915	559,209
営業外費用	2,360	194,496
3 経常利益	5,035,947	4,884,478
特別利益	－	5,038
特別損失	431	667
税引前四半期純利益	5,035,516	4,888,849
法人税等	1,667,879	1,412,524
法人税、住民税及び事業税	1,607,307	1,312,177
法人税等調整額	60,571	100,346
四半期純利益	3,367,636	3,476,325

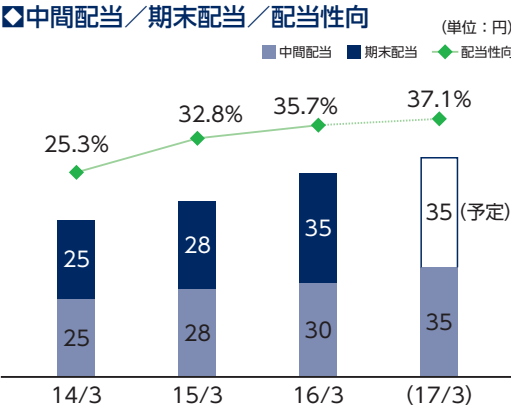
CHECK POINT

- 2 売上高・営業利益**
前年同期において、マイナンバーの実務に対応した製品の売上が好調だったことの反動でプロダクト売上が減少したものの、サービス売上においては、保守サービス等が売上増加に寄与したことにより、売上高が前年同期比（以下同）6.5％、営業利益が同6.9％の増加となりました。
- 3 経常利益**
経常利益が同3.0％減少した主な要因は投資事業組合運用損及び為替換算差損を営業外費用に計上したことによるものです。
- 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**
主なプラス要因は、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少額等であり、主なマイナス要因は、前受収益の減少額、法人税等の支払額等によるものです。
- 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**
主な要因は、投資有価証券の売却等によるものです。
- 6 財務活動によるキャッシュ・フロー**
主な要因は、配当金の支払額等によるものです。

第2四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

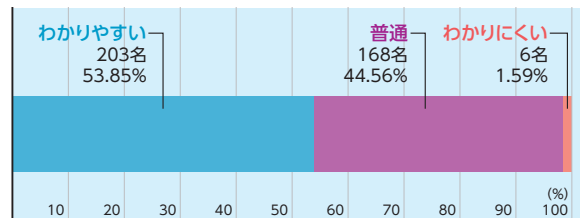
科 目	前第2四半期 累計期間 平成27年4月 1 日～ 平成27年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成28年4月 1 日～ 平成28年9月30日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,485,934	4,212,527
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	733,688	3,389,304
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,052,503	△1,315,839
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,167,119	6,285,992
現金及び現金同等物の期首残高	58,082,441	69,689,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,249,561	75,975,280



アンケート結果報告

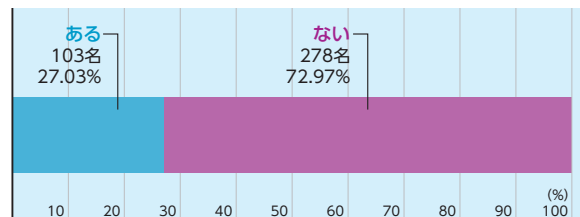
「第37期奉行通信」で株主様へアンケートを実施させていただきました。株主数4,475名のうち398名よりご回答を頂戴しました。株主様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果のご報告をさせていただきます。

Q 当社の奉行通信について、わかりやすさはいかがですか。



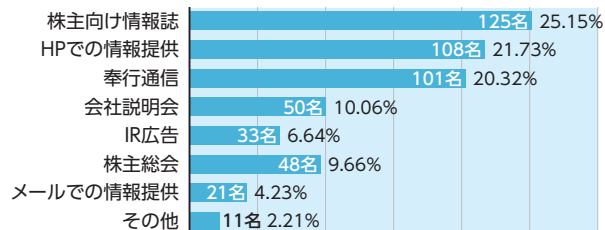
98%以上の株主様から「わかりやすい」・「普通」とご回答いただき、特に奉行10シリーズの特集が好評でした。今後もよりわかりやすい誌面を提供してまいります。

Q 当社のIRサイトを見たことがありますか。



ご覧になったことのある方のご意見では、デザイン・内容共に高い評価をいただいております。タイムリーな情報提供を行っておりますので、ぜひ一度ご覧ください。
(会社・IR情報 <http://www.obc.co.jp/corporate/>)

Q 当社のIR活動について特に充実を希望することは何ですか。



多くの株主様から「株主向け情報誌」・「HPでの情報提供」の充実を希望されるとのご意見をいただきました。「奉行通信」も情報提供のツールとして根強い人気がありますので、より充実した誌面作りに努めてまいります。

● その他ご意見のご紹介

- 奉行10シリーズの特集では、OBCの安定的な収益と将来への展望がわかって良かったです。
- 当期の業績ハイライトのグラフ、財務諸表のチェックポイントがわかりやすくまとめられています。

企業情報

平成28年9月30日現在

株式の状況

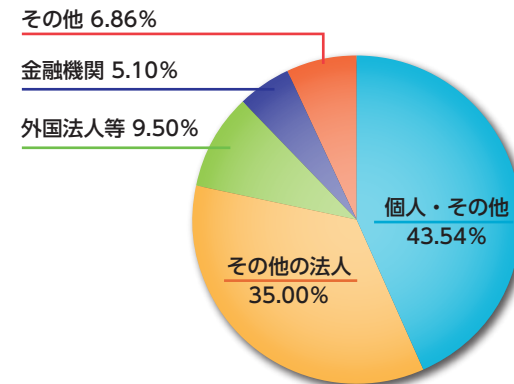
発行可能株式総数	161,408,000株
発行済株式の総数	40,352,000株
株主数	2,713名

大株主（上位5名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	13,589	36.16
和田成史	11,556	30.75
和田弘子	2,616	6.96
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT	1,081	2.87
澤田和久	464	1.23

※持株比率は自己株式（2,769千株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



企業プロフィール

会社概況		
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント	
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号	
設立	昭和55年12月12日	
資本金	10,519,000 千円	
従業員数	742名	

役員		
取締役会長	野田順弘	
代表取締役社長	和田成史	
専務取締役	和田弘子	
常務取締役	中山茂	
取締役	大原泉	
取締役	木村博	
取締役	橘昇一	
取締役	伊東千秋	
取締役	沖原隆宗	
常勤監査役	黒岡成一	
監査役	高橋郁雄	
監査役	加納博史	

主要事業拠点	
本社／東京支店	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-7 NORE伏見ビル7F

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について
株主様の口座がある証券会社へお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、上記の電話照会先をお願いいたします。

■ 「配当金計算書」について
配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましても、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

株主様アンケートがwebからも可能に

株主様アンケートがwebからも簡単に行っていただけるようになりました。
お寄せいただいたご意見は、今後の会社運営の参考として大切に扱わせていただきます。ぜひご利用ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

e-株主リサーチ(オンライン)で、ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます(ハガキでご回答いただいた方は対象とはなりません)

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **4733**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<http://www.obc.co.jp/>

IRページが充実！当社IRサイトのご案内

1

1 財務ハイライト <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。

2

2 決算のご報告 <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report.html>
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。

3

3 IRライブラリー <http://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。

